

長野県佐久穂町教育委員会がフルノシステムズのWi-Fi7対応アクセスポイントを導入し、学校向け無線LANを整備

GIGAスクール後の学びを支える未来志向のネットワーク
～校舎全体の通信品質を整え、ICT活用の幅を広げる環境づくり～

業務用無線機器メーカーの株式会社フルノシステムズ（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：中谷聡志、古野電気(株)関連会社）は、このたび長野県佐久穂町教育委員会の学校向け無線LAN整備においてWi-Fi7対応の業務用無線LANアクセスポイント「ACERA（アセラ）EW750」を採用いただきました。

ACERAの導入により、学内のどこにいても快適につながる通信基盤が構築され安定的に運用できる体制が整いました。



1人1台のタブレットを使用した授業

■ ACERA 導入の背景

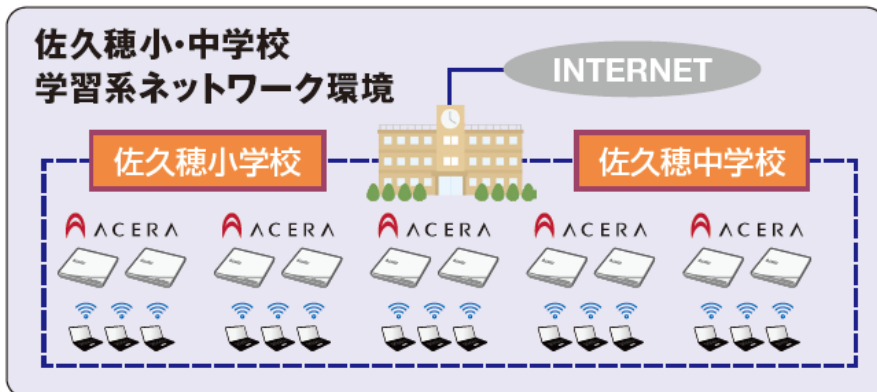
佐久穂町教育委員会では、「地域とともに育ち、未来を切り拓く力を育む教育の町づくり」を掲げ、小中一貫教育や英語教育、キャリア教育（ふるさと学習）を柱とした「佐久穂教育」を推進してきました。GIGAスクール構想によりICT活用は大きく前進した一方、導入したネットワーク環境では、通信速度や学習端末の同時接続時の安定性に課題が残りました。授業での円滑な活用が難しい場面も見られたため、今後さらに広がるICT活用を支えるためには、安定した通信基盤の再整備が不可欠であると判断しました。

ネットワークをルーターからAPまで全面的に見直しを行い、NEXT GIGA（GIGAスクール構想第2期）のタイミングでフルノシステムズ製無線LANアクセスポイント「ACERA EW750」を56台導入。この再整備により通信環境は大幅に改善し、児童・生徒が主体的に端末やアプリを活用提案など、自ら学びを創り出す教育環境の実現につながっています。

報道記者、関係者各位

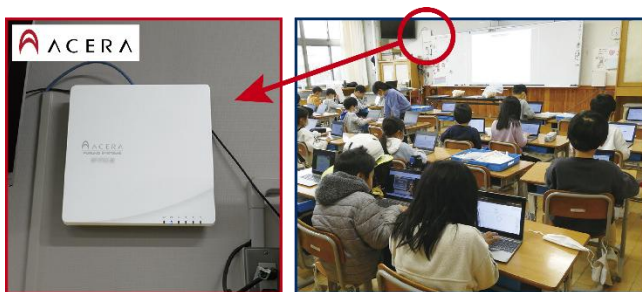
■ 学習をとめないネットワーク構成

ネットワーク全体の再整備に伴い、高速通信に対応したルーターやスイッチなどの機器を選定。さらに、これらの構成を最大限に活用できる無線LANアクセスポイント「ACERA EW750」を導入したことで、現状の通信品質向上はもちろん、10Gbps対応による将来の学習環境拡大にもゆとりを持って柔軟に対応できる、高速で安定したネットワークを実現しました。



■ 3クラス、90名一斉接続でもサクサク快適！授業での同時利用でもスムーズ

アクセスポイントを入れ替えたことで通信の安定性が大きく向上し、タブレットを使った授業でも遅延が発生せず、ウェブ動画やデジタル教材をスムーズに活用できるようになりました。これにより、教員が安心して授業で積極的にICTを取り入れられる環境が整いました。



【フルノシステムズについて】

フルノシステムズは、無線LANシステム分野のリーディングカンパニーです。無線ハンディターミナルをはじめ、無線LAN構築には欠かせないモバイル&ワイヤレスソリューションを提供しています。無線ネットワーク管理システム『UNIFAS（ユニファス）』およびネットワーク機器『ACERA（アセラ）シリーズ』は、国内メーカーである高い品質と技術、充実したアフターサービスが評価され、オフィスや学校、公共施設においてシェアが拡大しています。

■ホームページ <https://www.furunosystems.co.jp/>

※記載されている商品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

【問合せ先】株式会社フルノシステムズ

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル

【広報窓口】TEL:03-5600-5115 マーケティングコミュニケーション室 広報担当

URL : <https://www.furunosystems.co.jp/> Mail : webmaster@furunosystems.co.jp